

V パプロによる報告

1 生物多様性

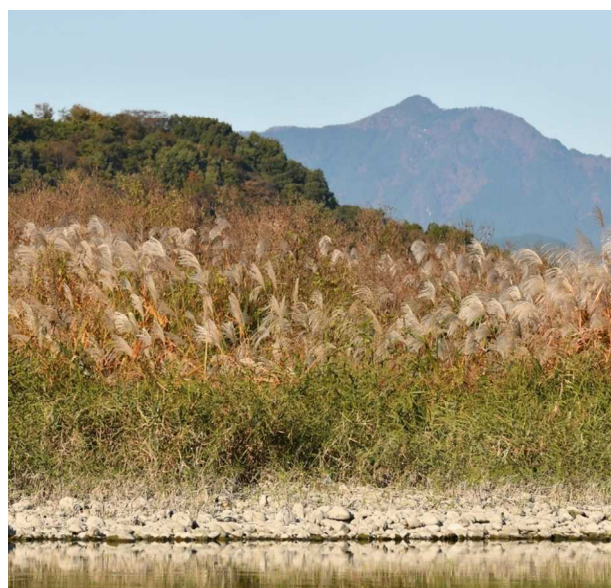
西多摩地域に残る貴重な自然環境が広く存在するあきる野市においては、生物多様性は重要な話題となっています。

この貴重な自然環境を存続するため、我々、森林レンジャーは、主な活動の一つである生物調査を一年を通して実施しています。

本調査は、平成22年から実施しており、市内の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類及び昆虫類の分布などの生息調査となります。以下に記載した調査の詳細や過去のデータは、以前発行した森林レンジャーあきる野活動報告書（平成22年～24年、平成25年～27年、平成28年～30年及び、令和元年～3年分の各報告書）で確認できますので、深堀の場合はご覧ください。

これらの調査により、生き物の生息情報など、地区別に生物多様性の現状を把握することで、保全活動や今後の整備計画などに生かしています。

以下は、これまでの活動報告書の更新データや追加内容になります。



1-1 動物調査の最新データ（動物総合調査・絶滅危惧種の確認）

○ あきる野市の動物総合データについて

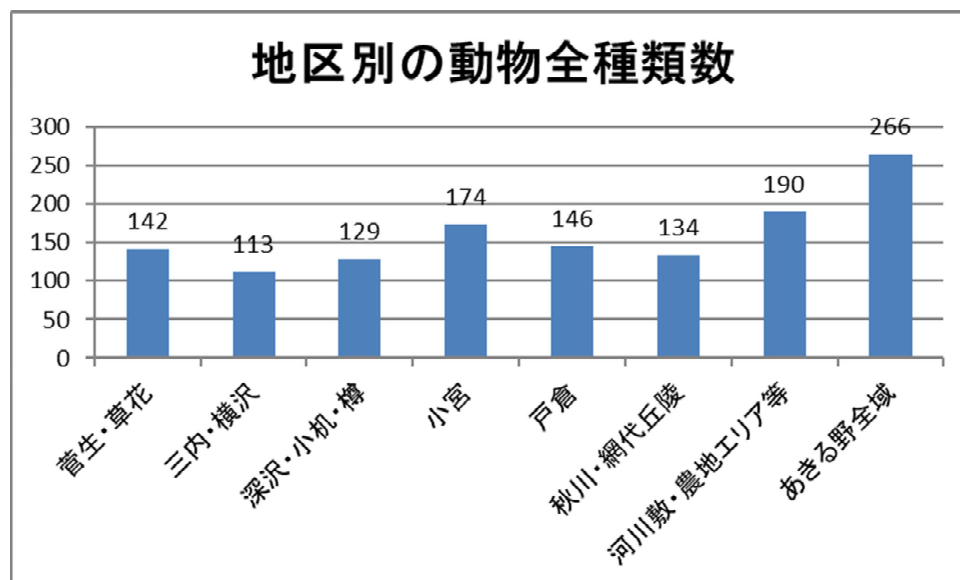
これまでに（平成21年～令和6年）、あきる野市全域で確認した動物種数は、哺乳類（33種類）、鳥類（175種類）、爬虫類（16種類）、両生類（15種類）、魚類（27種類）、昆虫類など（990種類）の合計で、全種類 1,256 種類です。

次の表は、これまで確認した動物の総合データを地区別に示したものです。

地区又はエリア	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	全種類
菅生・草花	17	98	12	10	5	142
三内・横沢	17	74	9	11	2	113
深沢・小机・樽	22	83	11	9	4	129
小宮	26	114	11	9	14	174
戸倉	18	97	8	11	12	146
秋川・網代丘陵	20	88	9	12	5	134
河川敷・農地エリア等	14	134	15	11	16	190
あきる野全域	33	175	16	15	27	266

※ 外来種含む（31種類）

※ 赤字は地区別の最大値



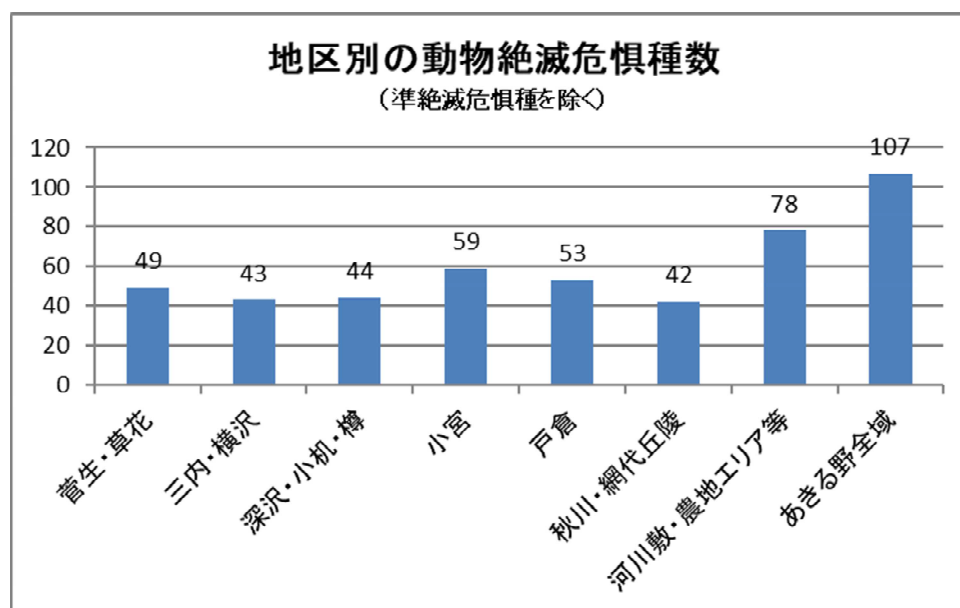
○ 絶滅危惧種の確認について

これまで、本市全域で確認した絶滅危惧種は、動物の107種類に昆虫類の37種類を合わせると144種類に上ります。結果、全動物1,256種類中、絶滅危惧種が占める割合は11.46%になります。

〈地区別の動物絶滅危惧種数（準絶滅危惧種や情報不足の種を除く）〉

地区又はエリア	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	全種類
菅生・草花	1	31	9	7	1	49
三内・横沢	2	24	6	9	2	43
深沢・小机・樽	3	26	9	6	0	44
小宮	4	39	9	5	2	59
戸倉	2	33	8	7	3	53
秋川・網代丘陵	0	24	7	8	3	42
河川敷・農地エリア等	1	53	9	8	7	78
あきる野全域	5	71	11	10	10	107

※ 赤字は地区別の最大値



市内の多様性については、動物の総合種数において、河川敷・農地等のエリア（１９０種類）と小宮地区（１７４種類）が引き続き上位となっています。同様に、絶滅危惧種についても、河川敷・農地等のエリアは総合的に（７８種類）と小宮地区（５９種類）が上位となり、小宮地区と同様に市の奥山環境を広く含む戸倉地区（５３種類）でも多くの絶滅危惧種を確認しました。

○ 新たに確認した重要な種類について

令和４年から６年度までは新たに絶滅危惧種を含めて野鳥７種類（チュウヒ、オオアカゲラ、ヤイロチョウ、コウライウグイス、ハチジョウツグミ、ツリスガラ、イスカ）を確認しました。

また、昆虫類なども数多く確認した中、新たに６種類の指定種（アオサナエ、オオアオソウムシ、ツマグロキチョウ、ウラミスジシジミ、ウラクロシジミ、エゾミドリシジミ）の他に、市内においての希少種とされるアオモンイトトンボや、シラキトビナナフシなどの種類を確認しました。

一方、外来種のムシャクロツバメシジミ、ホソオチョウやシンジュキノカワガも確認されるようになり、温暖化などの影響で、市内の生物のシナリオで様々な変化がみられています。

新たに確認した上記の種類についての詳細は以下のとおりです。

チュウヒ (*Circus spilonotus*)

令和6年(2024年)の冬、秋川の河川敷でハンティングする若い個体を目撃しました(1羽のみ)。以前から目撃情報がありましたが、西多摩エリアで見られる機会は極めて稀です。環境省でも、ENに指定されている大変貴重な猛禽類で、国内に生息するつがいの数は100に満たない状況です。

オオアカゲラ (*Dendrocopos leucotos*)

西多摩の亜高山で確認できるキツツキの仲間ですが、アカゲラやアオゲラに比べて数が少ないです。市内では令和6年に正式に確認し、数少ないながら、奥山で一年中、または定期的に滞在する野鳥であると思われます。東京都ではNT、あきる野市ではDDに指定されています。

ヤイロチョウ (*Pitta nympha*)

令和6年(2024年)以降、繁殖の時期で市内の山地で確認しています。環境省で、ENに指定されている上位の希少種ですが、個体数の増加、または温暖化の影響で分布エリアを北上し、拡大していると思われます。

コウライウグイス (*Oriolus chinensis diffusus*)

令和5年(2023年)の初夏、多摩川河川敷で観察できましたが、渡りによる一時滞在と判定しています。中国などで繁殖する野鳥ですが、日本では迷鳥として主に日本海側の地域で渡りの時期の確認例がほとんどで、関東地方での記録が極めて少ないです。

ツリスガラ (*Remiz consobrinus*)

令和5年(2023年)の冬、秋川下流部のスズキ原で1回だけ確認しました。西日本では越冬個体数はやや多いとされますが、関東地方では、年によって目撃情報が上がります。

ハチジョウツグミ (*Turdus naumanni*)

令和7年(2025年)の冬、秋川河川敷の八王子との境界で1回のみ目撃しました。越冬個体で、一時滞在したと思われます。

イスカ (*Loxia curvirostra*)

令和6年(2024年)の早春に、山のもみ林などで移動する約10羽の群れを観察しました。あきる野版のレッドリストではDDに指定され、西多摩山地で稀に見られる冬鳥として

知られていますが、あきる野で記録されるのは初めてと思われます。

その他、絶滅危惧種に指定されている種類を含めて、数多くの昆虫類を確認しました。

注目すべき種類としては、多摩川や秋川の河川敷に面する林などではアオサナエ (*Nihonogomphus viridis*) は令和4年(2022年)に確認しました。

同じく河川敷では、数少ないながら、アオモンイトトンボ (*Ischnura senegalensis*) は令和5年(2023年)に1回のみ、コムラサキ (*Apatura metis*) は令和5年と令和6年に確認できました。

他にも、当地域では珍しいとされるシラキトビナナフシ (*Micadina conifera*) は令和4・5年(2022・23年)養沢地区で1回ずつと、五日市地区周辺でオオアオゾウムシ (*Chlorophanus grandis*) を令和4年(2022年)に1回確認しました。

また、前世紀に都内で一度絶滅したとされるツマグロキチョウ (*Eurema laeta*) は令和5年(2023年)より秋や春の時期に、市内の河川や里山の複数か所で確認できました。

さらに、ウラムスジシジミ (*Wagimo signatsu*) は令和5年(2023年)に養沢地区と菅生地区で1回ずつ確認し、ウラクロシジミ (*Iratsume orsedice*) は令和4年(2022年)より各年、エゾミドリシジミ (*Favonius jezoensis*) は令和4・5年(2022・23年)に養沢地区で確認しました。なお、フジミドリシジミ (*Sibatanoizephyrus fujisanus*) は、成虫ではありませんが、越冬卵により、令和4年(2022年)に同じく養沢地区の山地で発見することができて、エゾミドリシジミと同様に市内では初記録となりました。

終わりに、指定種ではないにもかかわらず、発見する機会が少ないと思われる昆虫類は多種発見することができました。ホオノキに寄生する美しいフチグロヤツボシカミキリや局所的な亜高山環境に偏っていると思われるハネブサシャチホコなどを記録することができました。一方、ホソオチョウやムシャクロツバメシジミといった外来種も長いリストの中の追加種となりました。

以上、これまでに希少種など多くの種類の生息場所の確認ができた中、多摩川などの河川敷で発見が多く、その多様性の大切さが示されましたが、外来種が最も多く確認できる環境であるとも言えます。他にも、市の最も高標高の山地が含まれる養沢地区でも発見が目立ち、クリやミズナラ、イヌブナなどの樹木が見られる森林が多いためと考えています。一方、近年のナラ枯れ現象は、低標高地に多く見られるコナラよりも、やや高標高地にあるミズナラへの影響は大きかったため、令和6年(2024年)以降は森林の大部分でその爪痕が見苦しく、生物多様性の低下が急激に起きています。このため、今後の自然保護や森林整備の発展においては考え深い状況になっています。

以下は、これまで確認した指定種の一覧や、新たに確認した種類の一部の写真です。

〈これまで市内で確認した指定種（注目種を除く）の一覧〉

No.	類名	科名	和名	学名	指定ランク		
					あきる 野市	東京 都	環境 省
1	哺乳類	オナガザル	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>	NT	NT	
2		ヤマネ	ヤマネ	<i>Girulus japonicus</i>	NT		
3		ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	DD	VU	
4		トガリネズミ	ニホンジネズミ	<i>Crociodura dsinezumi</i>	NT	DD	
5			カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephalus</i>	DD	NT	
6		キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i>	VU	NT	
7			キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	VU	VU	
8		ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>	VU	VU	VU
9			ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>	NT	NT	
10		クマ	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>	NT	NT	
11		ウシ	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	NT	VU	
12	鳥類	カモ	マガン	<i>Anser albifrons</i>			NT
13			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	VU	VU	DD
14			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>		DD	VU
15			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	VU		
16			オカヨシガモ	<i>Mareca strepera</i>	EN		
17			ヨシガモ	<i>Mareca falcata</i>	VU	CR(EN)	
18			ヒドリガモ	<i>Mareca penelope</i>	VU		
19			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	NT		
20			コガモ	<i>Anas crecca</i>	NT		
21			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	NT	VU	
22			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	VU		
23			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>	VU	EN	
24			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>	VU	VU(EN)	
25		キジ	ヤマドリ	<i>Symaticus soemmerringii</i>		VU	
26			キジ	<i>Phasianus versicolor</i>	VU	NT	
27			ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	DD	CR	VU
28		ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus jotaka</i>	EN	VU(EN)	NT
29		アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>		DD	
30			ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis kuntzi</i>	DD	DD(NT)	
31		カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>	VU	NT	
32			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	NT	NT	
33			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	VU	NT	
34			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	EN	VU	
35		ハト	アオバト	<i>Treron sieboldii</i>		NT	
36		クイナ	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	NT	NT	
37			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	EN	VU(EN)	
38			オオバン	<i>Fulica atra</i>	NT	(CR)	
39			ヒクイナ	<i>Zapornia fusca</i>	DD	CR	NT
40		ツル	ナベツル	<i>Grus monacha</i>			VU
41		カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	NT	NT	
42		チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	DD	DD	DD
43			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	NT	NT(VU)	
44			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	EN	NT(VU)	
45		シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	CR	VU	
46			タンシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	EN	VU	
47			イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	NT	VU	
48			クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	NT	VU	

49	鳥類	シギ	キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	NT	VU	
50			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>		NT	
51		サギ	ミソゴイ	<i>Gorsachius gossagii</i>	EN	EN	VU
52			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	NT	NT(VU)	
53			ササゴイ	<i>Butorides striata</i>	EN	VU	
54			チュウサギ	<i>Ardea intermedia</i>		NT	NT
55			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	NT	NT(VU)	
56		ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	VU	DD(EN)	NT
57		タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	EN	CR	NT
58			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	CR	EN	EN
59			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	VU	VU	
60			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	NT	VU	NT
61			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	EN	VU	NT
62			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	DD	(EN)	EN
63			トビ	<i>Milvus migrans</i>		(NT)	
64			サンバ	<i>Butastur indicus</i>	CR	CR	VU
65			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>	NT	(VU)	
66		フクロウ	アオバスク	<i>Ninox japonica</i>	EN	VU(CR)	
67			コノハスク	<i>Otus sunia japonicus</i>	CR	EN	
68			オオコノハスク	<i>Otus semitorques</i>	EN	EN	
69			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	VU	VU(EN)	
70		ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	CR	CR	EN
71		カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	CR	CR	
72			カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>		NT	
73			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	CR	EN	
74		キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	DD		
75			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	NT	(NT)	
76			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	DD	NT	
77			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>		(NT)	
78		ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	VU	NT(VU)	
79			コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>		DD	
80			チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>		DD	
81			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	EN	CR	VU
82		ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	DD	CR	EN
83		サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	CR	CR	VU
84			リュウキュウサンショウクイ	<i>Pericrocotus tegimae</i>	DD	DD	
85			サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	EN	VU	
86		モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>		NT	
87		カラス	オナガ	<i>Cyanopica cyanus</i>		NT	
88		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	EN	VU	
89		ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>		NT	
90			コシアカツバメ	<i>Cecropis daurica</i>	DD	NT	
91		ウグイス	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>		NT	
92		ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	NT	VU	
93			エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	CR	VU	
94			メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>		VU	
95		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	NT	VU	
96		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	VU	VU	
97		クイタダキ	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	VU	VU	
98		ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>		NT	
99		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>		NT	
100		キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>		NT	
101		ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera aurea</i>	NT	NT(VU)	
102			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>		NT	
103			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	VU		

104	鳥類	ヒタキ	サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>	DD	NT	
105			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	NT	VU	
106			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	NT	NT	
107			コルリ	<i>Larivora cyane</i>	CR	EN	
108			コマドリ	<i>Larivora akahige</i>	VU	VU	
109			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	DD	DD(NT)	
110		カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i>		NT	
111		イワヒバリ	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>	NT	NT	
112		セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>		NT	
113			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>		NT	
114		アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>		NT	
115			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>		VU	
116			ハギマシコ	<i>Leucosticte arctoa</i>		DD	
117			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	NT	NT	
118			イスカ	<i>Loxia curvirostra</i>	DD		
119		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>		NT	
120			ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	CR		
121			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	NT	NT(VU)	
122			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>	VU		
123			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>		EN	
124			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	VU	NT	
125	爬虫類	イシガメ	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	CR	CR	NT
126		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	CR	CR+EN	DD
127		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	NT	NT(VU)	
128		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	NT	NT(VU)	
129		タカチホヘビ	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	NT	NT(VU)	
130		ナミヘビ	シロマダラ	<i>Lycodon orientalis</i>	VU	NT(VU)	
131			ジムグリ	<i>Euprepophis conspicillatus</i>	NT	NT(VU)	
132			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	NT	NT	
133			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	NT	NT(VU)	
134			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	NT	NT(VU)	
135			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	VU	VU	
136		クサリヘビ	ニホンマムシ	<i>Gloydius blomhoffii</i>	VU	EN	
137	両生類	サンショウウオ	トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>	EN	EN	VU
138			ヒガシヒダサンショウウオ	<i>Hynobius fossigenus</i>	VU	VU	VU
139		イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	EN	EN	NT
140		ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	NT	NT	
141		アマガエル	ヒガシニホンアマガエル	<i>Dryophytes leopardus</i>	VU	NT	
142		アカガエル	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>	NT	NT	
143			ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i>	NT	NT	
144			ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	CR	EN	
145			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	NT	VU	
146			ツチガエル (ムカシツチガエル)	<i>Glandirana rugosa (Glandirana reliquia)</i>	EN	VU	
147			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	EN	EN	NT
148		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	VU	NT	
149			モリアオガエル	<i>Zhangixalus arboreus</i>	NT	NT	
150			カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>	VU	NT	
151	魚類	ヤツメウナギ	スナヤツメ種群	<i>Lethenteron reissneri complex</i>		CR	VU
152		ウナギ	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>		EN	EN
153		コイ	ギンブナ	<i>Carassius sp.</i>		DD	
154			オイカワ	<i>Opsarichthys platypus</i>		DD	
155			アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>		NT	
156			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>		NT	
157		ドジョウ	ドジョウ 〈またはキタドジョウ〉	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i> 〈 <i>Misgurnus sp.</i> 〉		DD(CR) 〈EN〉	NT 〈DD〉
158			ヒガシマドジョウ	<i>Cobitis sp. BIWAE type C</i>		NT	

159	魚類	ドジョウ	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>		EN	EN
160		ギギ	ギバチ	<i>Tachysurus tokiensis</i>		VU	VU
161		サケ	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>		CR	DD
162			ヤマメ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>		EN(CR)	NT
163		メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>		CR	VU
164		カジカ	カジカ大卵型	<i>Cottus pollux</i>		NT	NT
165		ハゼ	クロダハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>		CR	
166			トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp.		EN	
167	昆虫類	アオイトトンボ	アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>		VU	
168			オツネントンボ	<i>Sympecma paedisca</i>		CR	
169			ホソミオツネントンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>		EN	
170		カワトンボ	アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i>		VU(EN)	NT
171			ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>		EN	
172		モノサシトンボ	モノサシトンボ	<i>Copera (Pseudocopera) annulata</i>		VU	
173		イトトンボ	キイトトンボ	<i>Ceriatrion melanurum</i>		EN	
174			オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i>		CR	
175		ヤンマ	ルリボシヤンマ	<i>Aeshna juncea</i>		VU	
176			カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>		EN	
177			サラサヤンマ	<i>Sarasaeschna pryeri</i>		VU(EN)	
178		サナエトンボ	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>		VU	
179			ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>		VU	
180			コサナエ	<i>Trigomphus melampus</i>		EN(CR)	
181			アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>		VU	
182		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i>		EN	
183		ヤマトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>		NT	
184		トンボ	ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>		NT	
185			シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum</i>		NT	
186			マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum</i>		NT	
187			ヒメアカネ	<i>Sympetrum parvulum</i>		VU(EN)	
188			ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>		NT(VU)	
189			リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i>		NT	
190			チョウトンボ	<i>Rhyothemis fuliginosa</i>		VU(NT)	
191		ヒバリモドキ	カワラスズ	<i>Dianemobius furumagiensis</i>		NT	
192		バッタ	ナキイナゴ	<i>Mongolotettix japonicus</i>		NT	
193			クルマバッタ	<i>Gastrimargus marmoratus</i>		NT	
194			カワラバッタ	<i>Eusphingonotus japonicus</i>		EN	
195		セミ	ハルゼミ	<i>Terpnosia vacua</i>		EN	
196		タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>		CR	
197		ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>		NT	
198		ハンミョウ	ナミハンミョウ	<i>Cicindela chinensis japonica</i>		NT	
199		クワガタ	ヒラタクワガタ	<i>Serrognathus platymelus pilifer</i>		NT	
200		コガネムシ	オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i>		NT	
201		タマムシ	クロタマムシ	<i>Buprestis haemorrhoidalis japonensis</i>		NT	
202			ウバタマムシ	<i>Chalcophora japonica japonica</i>		NT	
203			ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>		NT	
204		コメツキ	ウバタマコメツキ	<i>Cryptalaus berus</i>		VU	
205		ホタル	ゲンジボタル	<i>Nipponoluciola cruciata</i>		NT	
206			ヘイケボタル	<i>Aquatica lateralis</i>		VU	
207		ジョウカイボン	キイロジョウカイ	<i>Themus (Haplothemus) niisatoi</i>		NT	
208		カミキリムシ	ベニバハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspoides</i>		NT	
209			シロスジカミキリ	<i>Batocera lineolata</i>		NT	
210		ハムシ	ハッカハムシ	<i>Chrysolina exanthematica</i>		NT	
211		ゾウムシ	オオアオゾウムシ	<i>Chlorophanus grandis</i>		VU	
212		コマユバチ	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokahamae</i>		NT	NT
213		アリ	トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>			VU

214	昆虫類	セセリチョウ	ミヤマセセリ	<i>Erynnis montana</i>		NT	
215			ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>		NT	NT
216			ホソバセセリ	<i>Isoetion lamprospilus</i>		NT	
217			オオチャバネセセリ	<i>Polytemis pellucida</i>		NT	
218		アゲハチョウ	ミヤマカラスアゲハ	<i>Papilio maackii</i>		NT	
219		シロチョウ	ツマグロキチョウ	<i>Eurema laeta</i>		CR	EN
220		シジミチョウ	ゴイシシキミ	<i>Taraka hamada</i>		VU	
221			ウラゴマダラシジミ	<i>Artopoetes pryori</i>		NT	
222			ウラミスジシジミ	<i>Wagimo signatus</i>		NT	
223			ウラクロシジミ	<i>Iratsume orsedice</i>		NT	
224			エソミドリシジミ	<i>Favonius jezoensis</i>		VU	
225			オオミドリシジミ	<i>Favonius orientalis</i>		NT	
226			コツバメ	<i>Callophrys ferrea</i>		NT	
227		タテハチョウ	オオウラギンスジヒョウモン	<i>Argyrogonome ruslana</i>		NT	
228			メスグロヒョウモン	<i>Damora sagana</i>		NT	
229			クモガタヒョウモン	<i>Nephargynnis anadyomene</i>		NT	
230			ウラギンヒョウモン	<i>Fabriciana adippe</i>		(VU)	
231			ミスジチョウ	<i>Neptis philyra</i>		NT	
232			ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas</i>		NT	
233			オオムラサキ	<i>Sasakia charonda</i>		NT	NT
234			ジャノメチョウ	<i>Minois dryas</i>		NT	
235			ヤマキマダラヒカゲ	<i>Neope nipponica</i>		VU	
236		ヤママユガ	シンジュサン	<i>Samia cynthia pryori</i>		VU	
237			クスサン	<i>Saturnia japonica</i>		NT	
238			ウスタビガ	<i>Rhodinia fugax</i>		NT	
239		イボタガ	イボタガ	<i>Brahmaea japonica</i>		VU	
240		スズメガ	オビグロスズメ	<i>Sphinx crassitriga</i>		VU	
241		コブガ	サラサリンガ	<i>Camptoloma interioratum</i>		EN	
242		ヤガ	シロシタバ	<i>Catocala nivea</i>		NT	
243		ミノガ	オオミノガ	<i>Eumeta variegata</i>		NT	
244		スカシバ	ヒメアトスカシバ	<i>Nokona pernix</i>		NT	
245	クモ類	コガネグモ	キジロオヒキグモ	<i>Arachnura logio</i>		DD(NT)	
246			トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhli</i>		DD	
247	貝類	タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>		DD(CR+EN)	VU
248		ベッコウマイマイ	ヒラベッコウ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i>		DD	DD

※ ランクの参照

あきる野市版レッドリスト / 東京都レッドリスト（本土部）2020 年版西多摩・本土部ラン
ク「西多摩と本土部が異なる場合（）は本土部ランク」 / 環境省 2020 レッドリスト

〈カテゴリー区分と基本概念〉

カテゴリー名称	表 示	基 本 概 念
絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存在が困難なもの
絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠAほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	今の時点での絶滅のおそれは小さいものの、個体数や生息する場所が急激に減ったときなどには、絶滅のおそれが一段と高まると考えられるもの
情報不足	DD	生息地が限られたり、特徴な環境に生息していたりするために、環境条件の変化によっては、すぐにでも絶滅のおそれが懸念されると思われるが、絶滅危惧種としてランク付けするほどには情報が得られていないもの

※ 備考

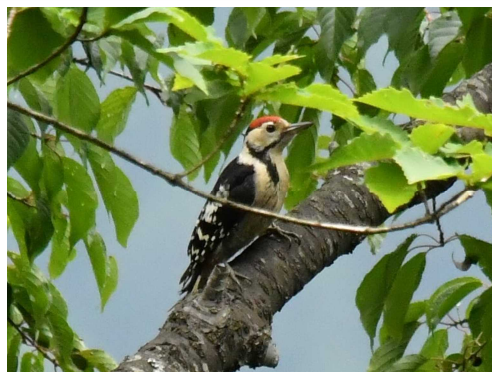
※ 関東地方を中心に分布するツチガエルは、2022年8月に発表された研究結果により新種ムカシツチガエル（*Glandirana reliquia*）となりました。

※ ウラギンヒョウモンは近年の研究により種類は分離し、市で見られるのはサトウラギンヒョウモン（*Fabriciana pallescens*）と思われますが、識別は困難とされます。

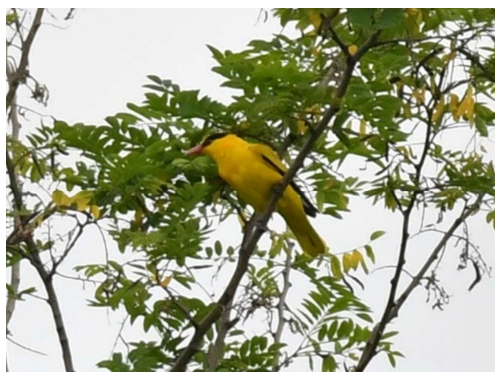
新たに確認した重要な種類の写真（その一部）
＜指定種＞



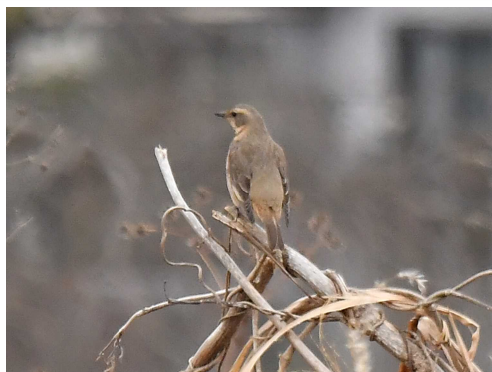
チュウヒ



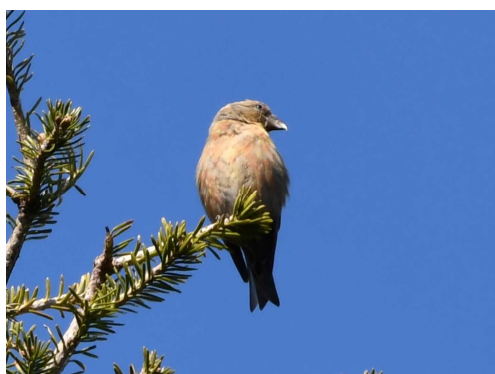
オオアカゲラ



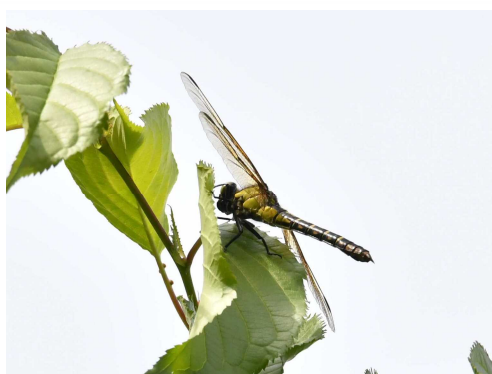
コウライウグイス



ハチジョウツグミ*



イスカ*



アオサナエ



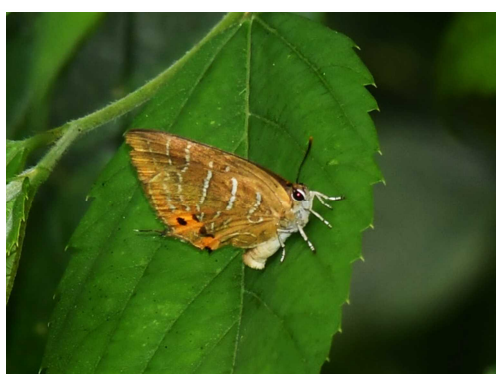
シラキトビナナフシ



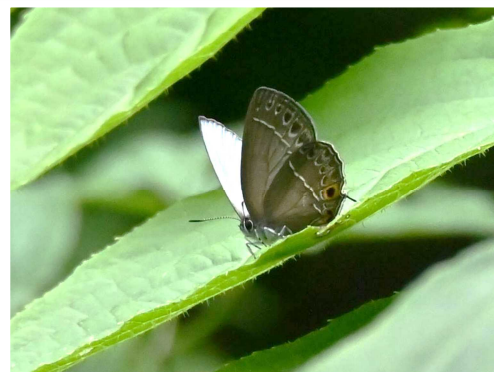
オオアオゾウムシ



ツマグロキチョウ



ウラミスジシジミ

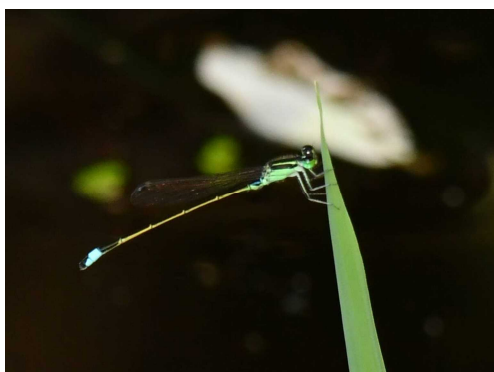


ウラクロシジミ

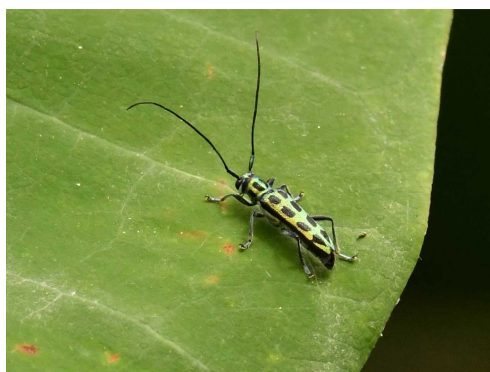


エゾミドリシジミ

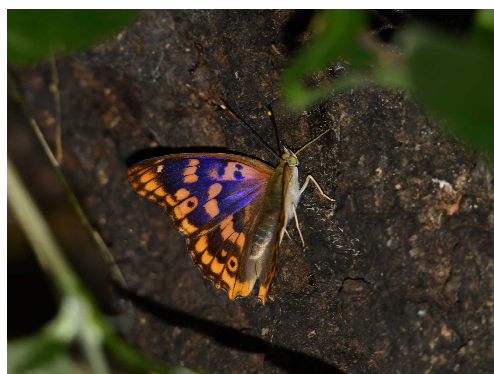
<指定種以外や外来種>



アオモンイトトンボ



フチグロヤツボシカミキリ



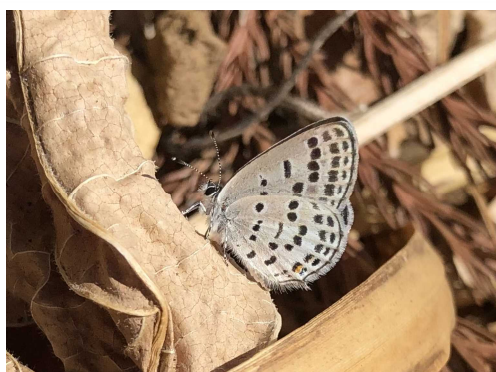
コムラサキ



ハネブサシャチホコ



ホソオチョウ（外来種）



ムシャクロツバメシジミ（外来種）

*の画像は市外で撮影